

清友

No.135

2020年11月
(2020年11月10日発行)

東京清掃労働組合退職者会

〒102-0072 千代田区飯田橋3-9-3 SKプラザ5F

TEL 03 (3237) 9995 FAX 03 (3237) 4541



秋景色の奈良・室生寺鑑坂

憲法公布日の11月3日、国会正門前で「平和といのちと人権を！11・3大行動」がもたれ、3千人が結集、退職者会は9人でした。コロナで来られない人のために、集会の模様はネット配信されました。

アベは倒れたが強権政治継続

主催者は、「憲法を敵視し戦争のできる国づくりを進めてきた安倍政権は倒れた。安倍改憲を阻止してきたが、菅政権は、学術会議の人事介入や敵基地攻撃など安倍以上の醜い政治を進めようとしている。更なる共闘で自公政権を打倒

平和といのちと人権を！ 11・3大行動

憲法が生きるコロナ後の社会



しよう」と挨拶しました。

続いて、立憲野党は「政府・

自民党が勧める軍事力強化を許すな。学問の自由・表現の自由を脅かす学術会議の人事介入を許すな。辺野古新基地建設強行を許すな。原発再稼働を許すな」など、開催中の国会の論戦を踏まえた挨拶をしました。

憲法の理念の実現を

各分野からのコロナに関する報告は、「格差・差別・憲法・医療・教育・女性」の6分野。コロナ禍で顕著な若い人の貧困対策が重要、

軍事によらない安保が必要、自助・共助のための公助の強化、女性が生きづらい社会に未来はないなどの報告があり、憲法の理念実現へ向けた闘いの重要性が、再確認されました。

12・4学習会に参加を

スガ政治の特徴は、新自由主義と強権にあることが明らかになってきています。スガ政治の分析と今後の闘い方については、12月4日の学習会で伺えると思います。ぜひ参加してください。

- 日時 12月4日(金) 午後1時15分開会
- 場所 清掃会館地下ホール
- テーマ 菅政権の本質は何か(仮題)
- 講師 竹内 広人 さん (平和フォーラム事務局長)

※参加申込…至急連絡ください。
※学習会終了後の懇親会は中止します。

来年3月までの主な行事案内

秋のフィールドワーク

つくだ・つきしま探訪

江戸の風情と現代が重なる街「もんじゃ」でビール付ランチ

11月20日(金)

午前10時「月島」駅改札前集合
参加費2,000円

フィールドワークのプラン

- ①東京メトロ有楽町線「月島」駅 10時出発。「佃小橋」「まちかど展示館」「住吉神社」「石川島燈台跡」など佃島見学。時間に余裕があれば佃・石川島の現在の様子を体感。
- ②月島へ戻り、月島の砲台跡や観音を見学し、もんじゃストリート。もんじゃコースとビールでお昼。
- ③解散は「勝どき」駅だけど、果たしてたどり着けるか…?



住吉神社



お昼はコレ

※参加申込みはまだ可能です。大至急連絡ください。

3月26日(金)が4月2日(金) お花見ウオーキング

- ▼場所 小金井公園
- ▼実施方法 桜の木下で…(武蔵小金井駅集合)
- ▼参加費 詳細は検討中

★新春の集い

1月23日(土) *予定

- ▼時間 11時45分～14時
- ▼場所 飯田橋「福園」
*昨年と同じ中国料理店
清掃会館のすぐそばで
リーズナブルです
- ▼参加費 2,000円(予定)
*例年同様のパフォーマンス予定



今年の「新春の集い」(庄司会長の挨拶シーン)

- ▼募集 12月に案内郵送の予定
(やれるかどうかは、コロナの状況次第)

2月が3月に 演芸を楽しむ会

- ▼寄席 「新宿末広亭」昼の部(予定)
※例年行っていた「国立演芸場」は
興行形態が変わって不都合に
- ▼興行 2月上席・下席＝落語協会
中席＝落語芸術協会
3月上席・下席＝落語芸術協会
中席＝落語協会
- ▼集合 開催日当日、11時半に亭の前
- ▼参加費 1,500円(予定)
- ▼募集 12月幹事会で開催日、開催細目
が決まり次第、案内郵送の予定

75歳以上の医療費自己負担2割化 所得の線引きが焦点

年内のまとめ向け議論再開

後期高齢者医療保険の自己負担割合のあり方などを検討している社会保障審議会医療保険部会は、年内の意見取りまとめへ向け議論が再開されています。10月以降の3回の審議会では、財界や健保連の「自己負担2割を拡大すべき」という意見と「慎重な対応」を求める医師会などの意見が示されています。

財務省は最大限の範囲拡大案

財務省は、「現在の医療保険制度は、給付は高齢者中心、負担は現役世代中心という全世代社会保障改革において問題点とされる構造そのもの」との問題意識のもと、10月8日の財政制度等審議会財政制度分科会に、①後期高齢者の「窓口負担2割化対象を可能な限り広範囲」に設定、②高齢者は現役世代に比べ貯蓄残高は高い、「負担能力の判定に際

し、金融資産の保有状況を考慮する」こと等を提案しました。



連合も範囲拡大を主張

日商、健保連、連合等5団体は、「窓口負担の原則2割化、低所得者のみ1割据置き」などとする要望書を厚労省へ提出、経団連、協会けんぽも共同で同様の意見書をまとめています。自民党の財政再建推進本部小委員会も原則2割負担を政府に求めています。

範囲限定の条件闘争か

一方、日本医師会は「負担割合増は医療機会を奪う。2割負担化は限定的に」と慎重姿勢を示しており、厚生労働省の考え方も医師会に近いとみられています。しかし、外濠は埋まりつつあり、①現行1割負担者は現状維持、②新規2割負担は限定的にとの条件闘争の様相を呈しています。

自治退東京都本部第31回定期総会

菅強権政権打倒、立憲野党の政権樹立へ

10月29日に、田町交通ビルで全日本自治体退職者会東京都本部の第31回定期総会が開かれました。

染自治労東京委員長デビュー

岡田会長（福祉退）は、「コロナに負けていない仲間の顔が見えることを喜びたい。菅政権は早速、日本学術会議会員6名の任命をしない強権性を発揮した。来年度防衛予算5兆5千億円には敵地攻撃予算は入っていない。菅政権の本質見抜き、いろいろな運動を仕掛けよう」と訴えました。

染自治労都本部委員長（前東京清掃委員長）は、「先月大会で委員長になった。コロナに翻弄されて労組もWeb会議になっていくが、こうした顔が見える形が基本だと思っ。本来なら、今は賃金確定闘争の時期だが、いまだに月例給の人勧が出ていない。民間調査が遅れているからだ。職場は非正規の拡大が止まらない。社会全体のセーフティネット

の確保が重要だ。様々な場で退職者会の皆さまと共闘していきたい」と激励しました。

人見自治退会長は、「今年になって総会で挨拶するのは初めて、他は書面開催になった。菅政権は安倍政権を引き継いでおり、『高齢者医療の見直し』など自助を強調している。またぞろ竹中平蔵が登場させた。富めるものがますます富める社会になる」と挨拶しました。

政権交代への運動強化を

活動報告では、コロナ禍で会議や行事が難しくなっている中でも、各単会が署名活動やカンパ活動に頑張っていることが強調されました。

大田区退から「コロナ禍の中、分担金減額と組織の簡素化、単会中心に見直すべき」との意見がありました。活動方針や予算を原案通り決定、菅政権打倒を基軸にした運動を進めることが確認されました。（丹野）



コロナ禍の雇用破壊・生活破壊を許すな!



10月28日、文京区民センターで「コロナ禍の雇用破壊・生活破壊を許すな!労働者集会」が開催されました。

●社会的弱者を支えよう

主催者の元国鉄闘争共闘会議議長二瓶さんは、「コロナで進む雇用破壊により苦しんでいる社会的弱者に目を向け、労働組合は支える闘いをすべきだ」と問題提起しました。

●コロナで社会は一挙に変化

メインの講演は、元鉄建公団訴訟弁護団の加藤晋介さん。(1)コロナは若い人の死亡率が低く、死ぬのは年寄り。経済

優先へのシフトは、年寄りも死んでいいという割り切りだ。(2)コロナ禍はパンデミックで始まったばかりだ。パンデミックは人類史を変えた。14世紀ペストが資本主義の基礎をつくり、19世紀始め、スペイン風邪がロシア革命を成功させた。(3)コロナ禍は、リーマンショック等の金融不況と違う。供給も需要も止り、打つ手がない。(4)資本はコロナ後の世界を考えている。竹中が再登場し、この機会に一挙に改革。不採算の中小企業切り、デジタル化で労働者不要の政策をやるうとしている。このままでは労組の存在基盤がなくなる。(5)個別の戦闘的闘いだけでは勝てない。総資本との対決戦略を確立することが必要だ。

●コロナ後を見据えた運動を

加藤さんの講演の後、フロアからの発言として東京清掃中里委員長が「コロナ禍におけるエッセンシャルワーカーとしての清掃労働者の活動と課題」について報告しました。3方の発言を聞き、労働者連帯と、社会運動に関わることの重要性を再認識しました。

2段階勧告〜コロナで変則的賃金闘争に

今年の賃金確定闘争は、異変が起きています。人事院や人事委がコロナの影響で民間調査が大幅に遅れたとして、一時金と月例給を別々に勧告する2段階構えとしたからです。人事院は10月7日、一時金について、「民間との較差△0.4月」として0.5月引下げを勧告しました。同様に、特別区人事委は、10月23日に特別給の0.5月引下げ(民間との較差△0.5月)を勧告しました。

一方、月例給は、10月28日、人事院は、「民間給与との比較は△164円、較差が極めて小さく、俸給表等の適切な改定が困難なので、月例給の改定を行わない」と報告しました。特別区人事委員会の勧告・報告はまだ出ていません。東京清掃は、コロナ禍で従来方式の闘争形態をとれない中で不透明な状況に直面し、極めて難しい闘いを強いられています。



9月26日の自治労都本部定期大会で、東京清掃前委員長の染裕之さんが委員長になりました。東京清掃出身者初の委員長です。11月初めに、委員長執務室へお邪魔しました。染委員長は、開口一番、「自治労へ出て『井の中の蛙ではダメ』と強く感じた。様々な分野の方との交流で学べた。外のことを知ることが運動に生きる。東京清掃も外との関係を重視してほしい」と話されました。退職者会への感謝の言葉も伝えられました。氏の一層の活躍を、祈念したいと思います。

有意義だった東京清掃狭山現地調査

清掃・人権交流会会長 押田五郎

●24年連続の狭山現地調査

コロナ禍の影響で延期していた東京清掃の狭山現地調査を10月18日に実施することができた。97年以来毎年続けている清掃労働者の狭山現地調査は24回目。今年は33名が参加。

●コロナ禍では最初の現調

今年になってから、狭山再審闘争の集会や現地調査がコロナ禍の影響でことごとく中止。清掃の現調が今年初の団体による狭山現調となった。

81歳の年齢と体調に配慮し、石川一雄さんには絶対に感染リスクを負わせないことを条件に実現へこぎつけたため、石川さんにお会いできなかったが、早智子さんには様々な



ご配慮を頂き、一雄さんのお元気な様子も聞け、狭山に來られて良かったと実感できた。

●狭山事件発生から57年経過

63年に発生した狭山事件は57年が経過した。部落差別に基づく見込み捜査で犯人に仕立て上げられた石川一雄さんは無実を訴え続け、石川さんと妻の早智子さんは、第三次再審を求めて闘い続けている。

事前学習で、『雪冤くひで子と早智子の歲月』（NHKで放映）を上映し、狭山事件と袴田事件の二つのえん罪と闘う当人や家族の闘いを学び、決定的な科学的証拠が出されて確定判決の根拠が完全に崩されていることなどの報告を受けた。さらに、最近の石川さん夫婦からのビデオメッセージが流され、コロナに負けない力強い決意を聞くことができた。

●現調でわかるウソと偽り

現地調査では、現地事務所で「被害者の万年筆」が発見されたというカモ



イヤ、実際に現地を足で回って、矛盾に満ちた「ウソの自白」をもとにしたでたらめさを実感できた。初めて参加した若い仲間たちも「ひどい捜査だったことがよくわかった。しっかり石川さんを応援していきたい」と真剣に語っていた。

●一日も早く再審開始を！

6月に担当裁判長が代わった。決着の引き延ばしを許さず、無罪を証明する決定的な科学鑑定を出した鑑定人尋問や事実調べを早急に実現させ、石川さんが元気なうちに必ず再審を実現させよう。コロナ禍で苦労はあったが、有意義な狭山現調になった。

最高裁の差別判決に負けず 非正規差別撤廃へ闘い継続

非正規差別撤廃を求めた2つの最高裁判決は対照的です。

■退職金・賞与は不当判決

非正規に対する退職金の差別を訴えたメトロコマースと、ボーナスの差別を訴えた大阪医大の判決は、高裁が認めた是正部分も剥奪する不当判決でした。当該は「最高裁ではなく最低裁」と非難しました。

■諸手当・休暇は是正判決

一方、郵政の非正規労働者の訴えは、「住宅手当」「扶養手当」「有給の病気休暇」「夏期冬期手当」「年末年始勤務手当」の格差を禁じました。

■非正規差別実質是認の判決

最高裁判決は、「諸手当・休暇の格差は駄目だが、基本給に関わる格差は認める」という企業寄りの内容です。働き方改革で諸手当・休暇は無意味なものにする意図が隠されており、悪質です。それでも今後の闘いの端緒になると思います。



京東総行

東京福祉大は学生・教職員の声を聞け！
トヨタは「ILO」勧告に従い争議を解決しろ！
日本航空は解雇争議を早期に解決しろ！

「よつてたかつて勝利まで」
 争議支援の一日行動・東京総行動が10月30日に行われました。退職者会は午後から参加。

▼**東京福祉大は教職員への犠牲押しつけを止める！**

東京福祉大は、独裁的運営で違法行為を繰返し実刑判決を受けた元総長が引続き権力を握り、自らの違法行為による国の助成金カットを教職員や学生に転嫁しています。校舎前で糾弾の声を上げました。

▼**サンケン は韓国小会社の解散・全員解雇の撤回を！**

韓国サンケン争議の解決を求め、池袋のサンケン東京事業所に対し急遽設定された要請行動が、怒りのシュプレヒコールを背景に行われました。

▼**トヨタはフィリピン政府の要請に応じて争議解決を！**

トヨタは19年前、フィリピントヨタ労組を忌避して237名もの大量解雇を強行。ILOからの数度に亘る勧告も、フィリピン政府による解決の要請

も無視し続けています。トヨタを糾弾する声が飯田橋の東京本社前で響き渡りました。

▼**JALは組合排除目的の解雇を撤回し現職復帰を！**

最後は、組合排除を狙った不当解雇の撤回を求めるJAL争議団支援。労働条件の改善、解雇の撤回、全ての争議に勝利しようという決意を表明し行動を締めくくりました。



10月23日の夜、不当解雇と闘うユナイテッド闘争団の銀座デモが行われました。

現在争われている裁判（高裁）では、「どこの国の法律を適用するのかの準拠法を巡り、米国の法律に準拠させないことが課題」と、弁護団が説明しました。解雇争議は法廷闘争だけでは勝てません。支援する力と闘いが大事です。アメリカ流の首切りがまかり通れば、日本は「首切り天国」になることは必定です。そうさせてはならないという決意も込めて夜の銀座デモを敢行しました。

日本航空が労組弾圧を狙って165名を不当解雇してから10年。株主総会で社長が「争議解決」の発言をしてから2年以上経ちましたが、依然未解決です。

この状況を打破するため、10月15日、支援共闘による経団連要請・宣伝行動が取られました。労働者の基本的な人権は最も尊重すべき。企業の存続発展と併せて雇用の維持・確保を最優先する」と謳っています。ならば、JAL争議の解決を指導すべきです。要請書郵送を主張する経団連の姿勢を糾弾し、抗議の声を上げました。

辺野古新基地を許さない!

止めよう
新基地建設!
10.14
辺野古裁判勝利!
学習集会



日本自然保護協会 安部真理子さん 加藤裕弁護士

辺野古米軍新基地建設の阻止へ沖縄県が政府を相手に提訴している裁判の勝利をめざす学習集会在10月14日、日本教育会館で開かれました。

辺野古埋立ては実質ゼロ

講演した辺野古関連訴訟弁護団の加藤裕弁護士は、辺野古新基地工事の進ちよくについて、「仲井真元知事の埋立承認から7年。大浦湾の埋立を即時開始する計画だったが、未執行。超軟弱地盤のことを分っていたのではないか。従って、工事は実質ゼロ。工事は止められる」と指摘しました。

地方自治と民主主義を守れ

辺野古をめぐる裁判は、埋立て承認撤回取消しに関わる「抗告訴訟」や、「サンゴ移植訴訟」等が争われています。加藤弁護士は「行政不服審査請求を使った県の撤回処分停止等、国の無法なやり方は、国はどんな無理でも通せることにつながっていく。一沖縄の問題ではなく、地方自治と民主主義を破壊する日本全体の問題だ」と指摘しました。

自然破壊は許されない

日本自然保護協会の安部真理子さんは、「工事がジュゴンのおさの藻場など生物多様性の破壊につながることで、珊瑚の移植技術は確立していないこと、国は一部の珊瑚しか移植の対象にしていないこと、離島の土砂は島ごとに固有なので、混ぜると問題が起きること」などを指摘し、世界的潮流の自然保護の観点から工事の不当性を訴えました。辺野古新基地建設の阻止は私たちの課題だと思いました。



オスプレイの横田配備を許さない!

オスプレイが横田基地に配備強行されてから2年、年間飛行回数は1万4千回まで増加し、パラシュート降下訓練中の部品落下・備品落下などの事故が続いています。付近は住宅地。青梅街道をはじめ交通量の多い道路もあり、路線バスに落下する危険もあります。10月16日、福生市民会館で「オスプレイの横田基地配備を

許さない三多摩集会」が開かれました。集会では、横田の報告に続き木更津の自衛隊オスプレイ配備反対運動から発言があり、木更津市を除く多くの地元自治体の首長が連名で防衛省に情報提供を求めていることが報告されました。コロナ禍の中、大衆運動がやりにくい状況ですが、反対運動があることを伝えることの重要性が確認され、集会を終了しました。(岡澤)

スガ強権政治を許さない!



「19日行動」が行われ、退職者会は雨にも負けず7名参加しました。学術会議人事をはじめ強権政治を進める菅政権の支持率は、就任直後から10%も下がりました。山口二郎法大教授は、「政府の違法等を批判するのも学者の仕事。学術会議会員任命拒否は、国民に知らせない、考えさせないことであり、これが菅政権の本質だ」と批判。総選挙で市民と野党の共闘によるリベンジが呼びかけられました。

安心総合共済

安い掛金で大きなメリット



新規加入した方へ 5千円キャッシュバック

安心共済はお得

全日本自治体退職者会が取り扱う会員向け損害保険「安心総合共済」は、団体割引で最高レベルの割引が適用され掛金も安く、加入にあたり年齢制限がなく、医師の審査も不要（がん補償除く）等、メリット一杯です。また、①緊急医療相談、②医療機

関案内、③予約制専門医相談、④転医・患者移送手配などに対応する「メディカルアシスト」は、非常に便利。多くの損害保険が有料ですが、「安心共済」は無料です。
5千円バックでさらにお得
東京都は自転車保険加入を義務化しています。5千円キャッシュバックでさらにお得な「安心総合共済」は、自転車保険に該当しており、安心をお届けできます。

■掛金と保障金額

- **保険期間** 2021年3月20日午後4時～2022年3月20日午後4時
- **加入日と締切日** 3月20日より加入は2021年1月8日締切
今年度の最終締切は、8月13日となります。
- **掛金と保険金額** 下記表は年間の掛金です。中途加入についてはパンフレットを請求の上ご参照ください。
※中途加入の保険期間、加入締切日、掛金は、パンフレットのP3、4をご覧ください。

安心総合共済に関するお問合せ、ご相談は、清掃退職者会へどうぞ。

基本補償 まず本人型・夫婦型から選びいただき傷害天災補償有・無を選択ください。※天災危険補償保険料には損害率による割増率は適用されません。

契約タイプ	Aタイプ 本人型(本人のみ)		Bタイプ 夫婦型(本人+本人の配偶者)		
	A1タイプ	A2タイプ	B1タイプ	B2タイプ	
傷害天災補償の有無	無	有	無	有	
年間掛金(一時払)	14,300円	16,790円	23,770円	28,660円	
傷害事故 本人 配偶者 賠償金額	死亡保険金	250万円	250万円		
	入院保険金日額	4,000円	4,000円	4,000円	4,000円
	手術保険金*1	4万円(入院中)・2万円(入院中以外)	4万円(入院中)・2万円(入院中以外)	4万円(入院中)・2万円(入院中以外)	4万円(入院中)・2万円(入院中以外)
	通院保険金日額	2,000円	2,500円	2,000円	2,500円
	死亡保険金	—	—	250万円	
	入院保険金日額	—	—	4,000円	4,000円
	手術保険金*1	—	—	4万円(入院中)・2万円(入院中以外)	4万円(入院中)・2万円(入院中以外)
	通院保険金日額	—	—	2,000円	2,500円
賠償事故(個人賠償責任) 1事故限度額	国内 無制限、 国外 1億円(免責金額0円)				
携行品損害 お支払い限度額	国内外 すべてのタイプ 50万円(免責金額(自己負担額)1事故につき5,000円)				

*1 手術保険金はケガによるもので、入院中以外(外来)は入院保険金日額の5倍、入院中は入院保険金日額の10倍となります。傷の処置や抜歯等お支払いの対象とならない場合があります。
※上記掛金には、制度運営費(1年あたりA1・A2タイプ1,200円、B1・B2タイプ2,400円)が含まれています。詳細は自治体共済会までお問い合わせください。